

沿 革

- 明治24年 2 月 4 日 盲人永洞清吉氏等八戸町大字朔日町において盲人の教養を目的として、東奥盲人教訓会を開設する。
これが本校の前身である。
- 明治44年12月20日 私立学校令により知事の許可を得て私立東奥盲人学校となり、永洞清吉氏が校長に就任する。（開校記念日）
- 昭和 2 年 4 月 1 日 私立八戸盲学校に聾啞部を併設し、私立八戸盲啞学校となる。
- 昭和 6 年 4 月 1 日 県立代用校に指定される。
類家字古玄中寺17番地に増築移転する。
- 昭和12年 4 月 1 日 校地校舎及び備品一切を県に寄付し、県移管と同時に青森県立八戸盲啞学校と改称する。
- 昭和23年 4 月 1 日 学制改革により義務教育となり、小学校 6 年、中学校 3 年、高等部 3 年の各部を置く。
- 昭和24年 4 月 1 日 校名変更分離により青森県立八戸聾学校となる。
- 昭和29年12月20日 類家字墓平31番地に寄宿舍（702.09m²）を竣工移転
- 昭和31年 9 月17日 類家字墓平31番地に校舎一部（660.00m²）を竣工
- 昭和33年 8 月26日 類家字墓平31番地に校舎一部（490.46m²）を竣工
- 昭和34年 8 月29日 類家字墓平31番地に校舎一部（598.75m²）を竣工
- 昭和37年 3 月31日 類家字墓平31番地に職員校舎（59.14m²）を竣工
- 昭和37年 6 月15日 類家字墓平31番地に体育館（288.00m²）を竣工
- 昭和37年10月20日 創立70周年記念式典挙行
- 昭和41年 3 月25日 渡り廊下（体育館、盲寄宿舍）（100.72m²）を竣工
- 昭和41年 4 月 1 日 聴力相談室を設置
- 昭和42年 4 月 1 日 幼稚部 5 歳児学級を設置
- 昭和44年 4 月 1 日 高等部に印刷科を設置
- 昭和45年 4 月 1 日 住所整理に伴い類家字玄中寺下33番地の 5 と改める。
- 昭和45年11月25日 体育館増築 14.4m×8m＝115.2m²
- 昭和46年 4 月 1 日 幼稚部 4 歳児学級を設置
- 昭和51年 4 月 1 日 幼稚部 3 歳児学級を設置
- 昭和52年 3 月28日 印刷科・実習棟・理科室（116.64m²）を竣工
- 昭和53年 2 月 1 日 住所表示法による住所変更。八戸市柏崎六丁目29番地24号となる。
- 昭和53年 9 月26日 非常用発電機小屋（8.77m²）を竣工
- 昭和54年 8 月11日 南部淑子氏ほか 4 名より土地購入 166m²
南部淑子氏ほか 4 名より土地寄付 5,784m²
- 昭和57年 2 月13日 校地合計面積 8,808m²が土地区画整理法による換地処分により学校用地9,053m²（柏崎六丁目29の 1）となる。
- 昭和58年 3 月15日 校歌制定（昭和57年度職員作詞 相馬光夫作曲）
- 昭和60年11月21日 寄宿舍・食堂棟（盲・聾）1,094.53m²竣工

平成2年7月5日	創立100周年記念式典挙行 校門・門扉新設
平成5年11月18日	体育館倉庫竣工
平成6年3月31日	高等部（印刷科）廃止。青森聾学校へ統合
平成7年11月21日	印刷室・木工実習室・遊戯室・倉庫・印刷科実習室・理科室取り壊し、跡地を駐車場として整備
平成8年8月23日	集団補聴器全教室に設置
平成13年8月11日	校舎改築のため仮設校舎（八戸市青葉二丁目7-1）へ移転
平成13年10月12日	校舎改築工事着工
平成13年10月29日	校舎、機械室取り壊し
平成15年3月26日	校舎改築・外構その他工事完成、引渡し
平成16年1月27日	皇太子殿下行啓訪問
平成16年3月3日	体育館改築工事完成、引渡し
平成16年3月23日	旧体育館・体育館用渡廊下取り壊し
平成16年8月10日	多目的運動場整備工事着工
平成16年12月11日	校舎・体育館並びに多目的運動場落成記念式典挙行
平成17年2月25日	多目的運動場整備工事完成、引渡し
平成22年11月20日	創立120周年記念式典挙行
平成25年2月14日	全国聾学校合奏コンクール 金賞・文部科学大臣賞表彰式
平成26年4月1日	八戸市津波避難ビルに指定される。 八戸盲学校・八戸聾学校協働 相談支援センター設置
平成28年4月1日	青森県教育庁障害者就労促進センター（障害者就労センターはちのへ）設置
令和2年11月13日	創立130周年記念集会挙行